



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 Tel.227-1972

- 1 深夜はいかい・非行防止
学校・家庭・地域・関係機関等の連携による啓発とはいかに少年への適切な声かけ(家出、万引き、飲酒ほか)
- 2 校区環境点検の実施と適切な対応
少年の生活環境点検調査及びパトロール活動の推進(河川や海岸、不健全遊技場、有害図書・玩具等取扱店舗ほか)

愛情を感じさせるコミュニケーションを



一人一人に応じた声かけや接し方を工夫して関わろうとしたとき、声かけを無視したり、あるいは、無気力な反応をしたりする子どもと出会ったことがありました。その度に個々に応じた声かけや成長を支えるコミュニケーションの取り方の難しさを感じてきました。今月は、成長を促す望ましいコミュニケーションの取り方について考えてみたいと思います。

まず大切にしたいことは、子どもの言動に関心を持ち、あるがままの姿を認め、少しの成長や進歩を見逃さずに承認・称賛しながら関わっていくことです。

次に大切にしたいことは、子どもに気を遣わず、安心して話せる関係を築いていくということです。聞き手である自分が、子どもの話を心を込めてしっかりと聞き、理解しようという思いで関わっていくことです。その繰り返しで、子どもとの関係は深まっていくと考えます。

自分に余裕がなく冷静さを欠き、子どもの目線に立って対応してあげられずに、「だめ」「違うでしょう」「それはこうだよ」などと、子どもの話を最後まで聞いてあげられずに否定したり、決めつけたりして、子ども自身

が失敗経験から学べていけるように導いてあげられなかった苦い経験がある人もいるのではないのでしょうか。

話を聞くときは、聞き手の価値判断で話を聞くのではなく、子どもとの対話の中で柔軟に反応しながら、「どうしてそう思ったの?」「それはどうしてなの?」などと、会話が続くような問いかけをタイミングよく行い、「これからどうする」と自己を振り返らせ、自己決定を促していくことで、話が弾み発展していくと思います。そうすることで、子どもの思いや心のうちを理解してあげられるのではないかと考えます。

「コミュニケーションを取る」とは、双方の意思の疎通であり、会話することでお互いを理解し合えることが楽しいと思える経験であると考えます。子どもたちに、どんな態度で接し、どんな言葉を掛けるかが、これから子どもたちの育成では最も大切であると考えます。子どもをよく観察し、声を掛けられた子どもが、愛情を感じるコミュニケーションに努めて、一人一人にあった成長を促していきたいものです。

心の奥の
思いを聞く
関わり

心にゆとりをもつ毎日を



忙しい毎日の中で、ふと立ち止まる瞬間がありますか。

信号待ちで足を止めると、色とりどりの草花が目にとまります。咲き誇る花や生い茂る葉を見て、もうそんな季節になったのか、と改めて四季を感じさせられます。

気付かないうちに、自然は日々豊かに色や形を変えています。その素敵な変化に気付くことのできる毎日でありたいと思っています。

仕事を始めてしばらく経った頃の帰り道、ふと見上げた夜空に、はっとしたことを覚えています。こんなにも美しい夜空を、今までずっと見逃していたことに驚き、下ばかり向いて歩いている自分に気が付きました。余裕のない毎日を送っていた自分が恥ずかしくなりましたが、周囲を見渡すことのできる、気持ちのゆとりを持つことができたことが、少し嬉しくなりました。それ以来、焦りや不安を感じた時こそ立ち止まり、今の自分を振り返るようにしています。

心にゆとりをもって生活することで、新しい世界が見えてきます。ちょっと立ち止まって変化に気づき、新しい何かを発見して、心豊かに生活できる毎日にしたいと思います。今、あなたの足元には、何が咲いていますか。

夏の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

本市では、児童生徒の夏休みを含むこの時期に、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体が密接な連携を図りながら、下記の「夏の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動」を積極的に展開していきます。市民一人一人が青少年の健全育成についての理解を深め、心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成していきましょう。

記

- 1 期間 令和4年7月1日(金)～8月31日(水)
- 2 テーマ及び重点事項
「明るくたくましく すこやかに ～みんなで環境点検～」
- 3 実践事項
 - ※ 新型コロナウイルス感染防止策を取りながら活動を展開する。
 - (1) 地域ぐるみで、青少年へのあいさつ、声かけを実施し、非行等の未然防止に努める。
 - (2) 環境点検等(危険箇所等の点検)を実施し、交通事故・水難事故等の防止に努める。
 - (3) 「早寝 早起き 朝ごはん」の習慣化やラジオ体操への参加などを通して基本的な生活習慣の育成に努める。
 - (4) スマートフォンやゲーム機器等の正しい使い道やネットトラブルについて、家庭や地域で話し合う。

【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 5月の声かけ人数 442(165) 前年同期 303(150)

◇ 5月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	58(18)	26(13)	319(130)	7(0)	3(0)	0(0)	413(161)
その他	1(1)	1(1)	27(2)	0(0)	0(0)	0(0)	29(4)
合計	59(19)	27(14)	346(132)	7(0)	3(0)	0(0)	442(165)
前年度比	20(4)	▲1(8)	129(8)	▲5(▲4)	▲4(▲1)	0(0)	139(15)

◇ 5月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	264(107)	59.8%
天文館	81(44)	18.3%
谷山	62(10)	14.0%
上町	1(0)	0.2%
鴨池	34(4)	7.7%
伊敷	0(0)	0.0%
その他	0(0)	0.0%
合計	442(165)	100.0%

- 遊技施設にいた○○小学校の3人に声を掛けた。「親と一緒に来ました。親はそこです」と近くにいた成人男女を指さしたので、成人に確認したところ、「はい、今日は兄妹3人も学校を休ませました」と話した。また、本人たちは、「ゲームコーナーへの立ち入りは、学校から『望ましくない』と指導を受けている。熟知している」と話した。
- ゲームをしていた小学生に声を掛けた。児童は、学年は6年生であることを素直に話したが、学校名については「言わなければいけませんか」「言うつもりはありません」「言いません」の一点張りで、2人がかりの説得にも全く応じる気配が見られなかったため、声かけを打ち切った。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月～ 5月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	19(13)	21(2)	1(0)	0(0)	4(1)	15(4)	1(0)	0(0)	3(2)	64(22)	▲15(2)
西署	6(4)	25(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3(1)	1(1)	0(0)	1(1)	36(10)	5(8)
南署	6(0)	12(1)	2(2)	0(0)	0(0)	15(4)	0(0)	0(0)	0(0)	35(7)	▲7(3)
人数合計	31(17)	58(6)	3(2)	0(0)	4(1)	33(9)	2(1)	0(0)	4(3)	135(39)	▲17(13)
割合	23.0%	43.0%	2.1%	0.0%	3.0%	24.4%	1.5%	0.0%	3.0%	100.0%	
当月発生計	1(1)	7(2)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	1(0)	0(0)	1(1)	14(3)	当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	2(1)	3(0)	0(0)	3(0)	0(0)	8(1)	2(1)	10(5)
西署	2(0)	2(0)	7(1)	0(0)	0(0)	2(0)	13(1)	1(▲1)	11(2)
南署	7(1)	3(0)	2(1)	1(0)	2(1)	2(0)	17(3)	▲4(▲3)	14(7)
人数合計	9(1)	7(1)	12(2)	1(0)	5(1)	4(0)	38(5)	▲1(▲3)	35(14)
割合	23.7%	18.4%	31.6%	2.6%	13.2%	10.5%	100.0%		
当月発生計	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	3(0)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 6月初旬に、市内中学校(1校)で非行防止教室(インターネット関係)を実施した。7月も市内小学校2校、中学校3校で非行防止教室(インターネット関係、初発型非行防止)を予定している。
- 居場所づくり活動は、5月下旬に海釣り公園で釣り活動を実施した。6月は、農業体験活動(サツマイモの植え付け)を予定している。
- サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込み等が見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- 本年度から配置された補導職員が、毎日、午前と午後に中央駅付近を巡回しているが、今のところ、特に気になるような事案はない。